

# 歯を磨けば命が輝く 〜歯原性菌血症の怖い話〜



花田 信弘（はなだ のぶひろ）

福岡県出身 歯学博士

鶴見大学 歯学部 探索歯学講座 主任教授

国立感染症研究所 口腔科学部長を経て現職。

全国各地の大学歯学部の講師を務める。

## 第8話 口の中のエイリアンが脳へ行く

感染症はくすり（ワクチンと抗生物質）で治療するのが医療の常識ですが、くすりが効かない感染症もあります。それが口腔感染症（バイオフィルム感染症）です。口腔の細菌をこの連載では「エイリアン」と呼んでいます。エイリアンは虫歯や歯周組織から血流に入って五臓六腑に広がっていきます。今回は、エイリアンが脳に行くお話しましょう。口の中には数百菌種、約100億個のエイリアンがいます。歯磨きをさぼって歯肉炎（歯肉粘膜の潰瘍）になるとエイリアンが血流に乗って脳に運ばれます。脳には血液から髄液、あるいは脳への物質の移動を選択的に行っている特別な脳毛細血管があり、それぞれ血液髄液関門、血液脳関門と呼んでいます。ここが機能しないと脳髄液内にエイリアンが侵入します。これが細菌性髄膜炎です。また、首から脳に通じる頸動脈や頭蓋内の比較的太い動脈にエイリアンが定着するとアテローム血栓をつくり、血栓性脳梗塞を起こします。脳内の主要な血管は、脳の軟膜と頭蓋骨の内面にあるくも膜の間を走行しています。



くも膜下腔は狭いため、脳動脈内にアテローム性動脈硬化を作ると血管が裂けて出血し、血液は脳とくも膜との間に急激に広がり致命的病気に陥ります。くも膜下出血の病巣からは口腔由来のエイリアンが多数見つかっています。

エイリアンの多くは内毒素（LPS）を持っています。アルツハイマー型認知症で死亡した人の脳からは特定の歯周病菌（ジンジバリス菌）の内毒素（LPS）が見つかっており、この菌の成分が認知症の原因になっているのではないかと疑われています。

アメリカの大学の実験によると3週間歯磨きをしないとバイオフィルムが蓄積して歯肉粘膜に潰瘍（歯肉炎）ができます。潰瘍面から歯周病菌の内毒素（LPS）が血液に流入するので、半数以上の人が腎臓病患者と同レベルのエンドトキシン血症という病気になることがわかりました。3週間後に歯磨きを再開し、2週間たつとエンドトキシン血症は治癒します。人間は歯磨きをしないと生き続けることができないのです。これは、他の哺乳類とは食事の質が異なるためだと考えられます。歯磨きで大切な脳を守りましょう。



鶴見大学歯学部探索歯学講座

〒230-8501 神奈川県横浜市鶴見区鶴見2-1-3

TEL.045-581-1001

<http://dent.tsurumi-u.ac.jp/>



一般社団法人 口腔除菌協会

東京都港区六本木7-17-10

TEL.0120-59-6480

<http://www.kenko-station.jp>